

予備調査の結果・通学路の図については、6月29日（土）開催分の資料 [saidera-3.pdf](#), [saidera-4.pdf](#) をご覧ください。

佐井寺小学校・佐井寺中学校の校区変更についての説明会資料

平成14年（2002年）7月6日

4月27日に地域説明会を開催しました後、校区変更対象地域の保護者を対象とした説明会を重ねてまいりましたが、その間説明会の中で出されました意見や要望について検討を行い、以下のような回答をさせていただきました。

#### 1. 兄弟姉妹の通学校について

当初、平成15年度（2003年度）からの新1年生については、全員新しい校区の学校に入学していただくようお願いをしておりましたが、説明会の中で、保護者の方々から兄弟姉妹が別々の学校に通うことの負担の大きさなどについて多くのご意見が出され、柔軟な扱いを求める強い要望がありました。このことを受け、6月に予備調査なども実施しながら（結果は別紙のとおり）弾力的な対応を行う方向で検討しました結果、平成15年度（2003年度）以降の新1年生については、兄姉が在学している場合に限って佐井寺小学校・佐井寺中学校に入学していただくことも可能といたしました。

#### 2. 通学路の安全対策について

校区変更後の通学路として、現在教育委員会において比較的安全な通学路として検討中の通学路は別紙のとおりです。また、その中に示している安全対策を関係機関の協力を得ながら実施していきたいと考えています。安全対策のうち、横断歩道など大阪府公安委員会が実施機関となる場合は、公安委員会の判断を待つところとなりますが、この場合にありましては、PTA や自治会などの協力も得ながら早期実現に向け要望を行ってまいります。また、これらの安全対策を講じるために予算措置を講じる必要があるものについては、適宜関係部局とも協議しながら予算化に取り組んでまいります。

### 3. 学校規模適正化事業の検討経過について

平成13年度の教育委員会内部プロジェクトチームの構成メンバー並びに検討経過については、次のとおりです。

#### 学校規模適正化推進プロジェクトチームの構成員

教育企画室長、教育企画室参事、学務課長、指導課長、学校施設課長、教職員課長、学校給食課長、青少年室主幹、生涯学習課主幹、学識経験者2名（関西大学教授、助教授）

#### 学校規模適正化の具体策についての検討

佐井寺小学校・佐井寺中学校の規模適正化は、校区変更によって行うこととし、次の校区変更案について検討しました。なお、佐井寺中学校の規模適正化については、佐井寺小学校の適正化により実現することとしました。

校区変更案...佐井寺4丁目を佐竹台小学校区に、千里山高塚28～41番を千里第二小学校区に変更

他の校区変更案はプロジェクト会議の中では出されず、この案をまとめました。

### 4. 登下校時の交通量調査の実施について

登下校時の交通量については、5月27日～5月31日の間、登校時1時間、下校時3時間の交通量の調査を行いました。

### 5. 千里山高塚の校区変更先について

地域における自治会活動などのつながりから、千里山高塚の一部（36番、41番）は佐井寺4丁目と同じ佐竹台小学校区（高野台中学校区）に変更してはどうかとの意見があり、そのことについても予備調査の中で合わせて調査をさせていただきました。しかし、調査結果は別紙のとおり千里山高塚地域の中でも考え方は様々であることから、教育委員会としても慎重に検討し判断しなければならないと考えています。

### 6. 将来の児童推計の見通しについて

今後の児童生徒数の推移予測については、0歳から5歳児までの子どもの数を基礎にして児童・生徒数推計を行いました。なお、推計を行った時点で開発申請が出されていたマンション等については、戸数から予測される児童・生徒数の増加を推計に組み入れています。

地域における児童・生徒数は厳しい社会経済状況の中で、絶えず変動しており長期

にわたって将来の正確な予測をすることは非常に困難です。特に、今後開発を予定している区画整理地区内あるいは生産緑地内の状況についても、現在開発申請が提出されているもの以外の推計を具体的に見込むことは、市役所内関係所管においても困難な状況です。

#### 7. 今回の計画を白紙に戻すことについて

小中学校の規模適正化については、平成12年～13年にかけて学識経験者や学校等の代表者等による「吹田市立学校適正規模検討会議」を設置し、適正規模の考え方や今後の適正化の方向について議論してきました。その後検討会議の意見書をもとに教育委員会としては、良好な教育環境を目標に、本年3月4日に適正規模についての基本的な考え方と規模適正化第1期実施計画を決定しこれに取り組んでいます。この取組みは、児童・生徒にとっての教育効果向上の観点からも実施する必要があり、ぜひとも保護者や地域の皆様のご理解とご協力のもとで平成15年度より実施してまいりたいと考えています。

#### 8. 通学校が異なる場合の学校間の行事の調整について

学校行事やPTA行事などについては各学校で決定することですが、特別な事情でもあるので、各学校にはできるだけ配慮されるようお願いしています。

#### 9. 校区変更ではなく施設の増築での対応について

市内全域において、小規模校と大規模校が存在しアンバランスな状況が起こっている中で、大規模校の解消は校区変更で行うことを基本的な考え方としています。なお、佐井寺小学校は平成12年度に4教室を増築しています。

(1) 平成15年度(2003年度)現状で推移した場合の児童一人当たりの面積比較

単位：m<sup>2</sup>

	校舎面積	運動場面積	体育館面積
佐井寺小学校	5.51	6.04	0.70
佐竹台小学校	14.09	14.94	1.99
千里第二小学校	11.51	13.10	1.10

( 2 ) 平成 1 5 年度 ( 2003 年度 ) 校区変更を実施した場合の児童一人当たりの面積比較 ( 在校生も含め全員が新しい校区の学校に移った場合 )

単位 : m<sup>2</sup>

	校舎面積	運動場面積	体育館面積
佐井寺小学校	7.23	7.92	0.92
佐竹台小学校	9.59	10.16	1.35
千里第二小学校	10.43	11.87	1.00

上記の表のように、児童一人当たりの面積を見ましても、これ以上の増築は学校運営上も適切ではないと考えています。

#### 1 0 . 今後の情報公開について

市報「すいた」やホ - ムペ - ジの掲載により情報を公開していきます。

#### 1 1 . 自治会等地域の団体等の活動への影響について

校区変更に伴う自治会等地域の団体につきましては、過去の校区変更に際してもその都度対象の団体内部で検討され、これまで校区の変更が行われても、自治会等組織は従来どおりとしているところ、あるいは相当長い年月を経て、新校区に沿った組織作りが行われたところ等、実態は様々です。

このたび地域の皆様方には、大変ご無理をお願いする中で、教育委員会といたしましてもこれまでの活動経過も考慮しながら、今日の地域コミュニティが損なわれることのないように、関係部局に申し入れていきたいと考えています。

#### 1 2 . 地域の犯罪事件の発生状況

平成 1 3 年 ( 2001 年 ) 1 月 ~ 1 2 月の防犯支部別の犯罪発生状況については、佐井寺地区の場合凶悪犯は 0 件、粗暴犯が 2 件、窃盗が 1 9 9 件、知能犯が 1 件、その他の刑法犯が 2 5 件という状況です。また、変質者などの問題については、市内全域にわたる問題であり、警察などの関係諸機関との連携や地域諸団体の協力も得ながら安全確保に努めていきたいと考えています。

### 1 3 . 千里山高塚区画整理地区の今後の開発計画について

千里山高塚地区の土地区画整理については、開発面積約 2 . 2 h a の中に街路や公園・緑地とともに集合住宅や戸建の建設が予想されますが、開発面積から見て、集合住宅が開発された場合の児童生徒数の増加（過去の集合住宅の開発実績から割り出した子どもの出現率で算出）を見込んで、千里第二小学校の適正規模を維持しながら校区変更が可能と考えています。

### 1 4 . 千里第二小学校区内の今後の集合住宅開発予定と開発に伴う児童数増加を見込んだ学校規模の推移について

#### ( 1 ) 千里第二小学校区内の今後の開発予定

入居予定時期	開発場所	開発戸数
平成 1 4 年 1 1 月	千里山高塚（緑住区画整理地区内）	2 3 戸
平成 1 5 年 4 月	千里山東 4 丁目	5 3 戸
平成 1 5 年 5 月	千里山高塚（緑住区画整理地区内）	2 1 戸
平成 1 5 年 7 月	千里山高塚（緑住区画整理地区内）	5 8 戸
平成 1 5 年 1 2 月	千里山高塚（緑住区画整理地区内）	8 2 戸
平成 1 6 年 1 月	千里山星が丘	4 4 戸

#### ( 2 ) 千里第二小学校の学校規模の推移

現状のまま推移した場合

	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)
児童数（人）	686	685	711	700	726	740	725
普通学級 (学級数)	18	18	20	20	21	21	20

平成 1 5 年度より校区変更した場合（在校生も含めて全員が移った場合）

	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)
児童数（人）	686	757	781	766	799	818	806
普通学級 (学級数)	18	23	23	22	23	23	22

#### ( 3 ) 第一中学校の学校規模の推移

現状のまま推移した場合

	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)
生徒数(人)	644	618	678	703	684	660	668
普通学級 (学級数)	17	16	18	19	19	18	18

平成15年度より校区変更した場合(在校生も含めて全員が移った場合)

	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)	H17 (2005)	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)
生徒数(人)	644	678	742	780	769	752	753
普通学級 (学級数)	17	18	20	21	20	20	20

#### 15. 千里山団地の建替えについて

都市基盤整備公団の千里山団地の建替え事業は、概ね5～10年を目途に着手することが見込まれていますが、具体の時期につきましては、今後諸状況を勘案して決定することとされており、具体的な建替え計画の把握はできておりません。

現在、千里山団地では2ヶ所において全体戸数126戸のマンション開発計画があります。